

地域包括ケアを

一緒に 考えて診る

市町・県行政と
医療・介護が取り組めること
取り組むべき視点



STRUCTURING
COMMUNITY-BASED
INTEGRATED
CARE

CONCEPT

高齢社会に突入した
山口県において
地域包括ケアの取り組みや
課題を共有する
医療・介護の連携の第一歩にしたい

DATE

2018年(平成30年)
7/5 THU
18:30-20:00

AREA

会場:セントコア山口サファイア
〒753-0056 山口県山口市湯田温泉3丁目2-7

PLAN

山口県における地域包括ケアの取組と
地域における課題の報告

周南市地域福祉課(地域包括ケア推進担当)

保健師 河野浩子先生

萩市医療介護連携推進室

保健師 石川京子先生

KEYNOTE SPEECH

〈基調講演〉

在宅医療と介護の円滑な連携に向けて
～沖縄県の現状と課題から～

沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科

医師 高山義浩先生

[座長]山口県健康福祉部

審議監 喜多洋輔氏

地域包括ケアに対するイメージ

「自分らしく生きる」

- ◎地域の独自性を活かす、分かりにくい
- ◎スーパードクターはいらない
心を持ったドクターがほしい
- ◎構築する側と構成する者との捉え方が違う
- ◎地域で総合的にケアを提供する
- ◎地域のくらしと人を支える輪
- ◎地域の人々がその人らしく生活するための支援・連携
- ◎いつまでも住み慣れた地域で暮らす
- ◎多職種で地域の方とともに患者を支える

「地域に密着した 医療・福祉・保健」

- ◎地域で生活困難な方を援助する
- ◎主に中学校校区単位で介護・医療の連携を密にして包括的にケアをするシステム
- ◎地域共生社会、山がごと・丸ごと、多職種連携
- ◎多職種連携、医療介護生活をつなぐもの
- ◎健康・医療・介護の視点から見たまちづくり
- ◎地域で亡くなる、この町に住んでよかったといえる地域づくり
- ◎利用者をいろいろな業種の人々がつつみこんだ感じ

「地域で生活する人を 丸ごと支援？ よく分からない。」

- ◎地域づくり。システムの構築のみではなく、住民を巻き込んで地域ぐるみで進めていくもの？
- ◎地域のあらゆる社会資源がつながる
- ◎地域全体で在宅医療やへき地医療を支えていく(特に人材を適切な場所に配慮する。資金運用等に重点を置いているイメージ)
- ◎地域の中で医療や介護をひっくるめて保健と福祉の面からサポートしていく
- ◎地域で一体的に取り組む
- ◎地域に密着した医療・福祉・保健
- ◎行政・自治体・企業・個人が協力しあって、2025年問題に取り組んでいくこと。

「高齢者を 地域全体で見守る」

- ◎地域の小さな病院から大きな病院への患者の紹介の行き来、患者の押し付け合いをしているイメージ
- ◎垣根のない、身内のような身近なストーリー
- ◎今後、医療提供体制を考えるうえで重要なもの
医療だけでは限界があるので早急に充実が求められる
- ◎個人レベルからシステムレベルまで切り口において様々なとらえ方ができるもの・多様で横断的なつながり
- ◎たえまなく つながる介護と医療と生活

- ◎ふつうの暮らしを守ること
- ◎2025年問題のみならず、現在又将来の社会問題に対応すべき必要事項
- ◎他職種連携+住民主体 地域を挙げてというイメージ・地域丸ごと・切れ目のない医療・介護・居宅
- ◎実際に自分が望む医療・介護を受けることができるのか。自分らしく、自分の望む地域の中で死を迎えられるのか不安です。
- ◎まちづくりだと思います。大きなテーマではありますが、実現するには小さな取組も必要です。医療の連携が必須です。

「連携、切れ目のないサービス」

- ◎自助・互助・共助・公助、バランスよく秩序正しくまわるしくみ
- ◎地域の高齢化を医療・介護、健康相談など在宅での生活を支える多職種連携ネットワーク
- ◎人生の最期をどこで過ごすかが根本にあると思う。それ以外は具体的なイメージがない。
- ◎地域全体で患者さんを支えるイメージ
- ◎関係機関が各々の立場で連携をとりあひながらつながっていき、安心して住みやすい地域づくりの仕組みを進めていくイメージ

「基本的に進むべき 方向性として間違いないもの」

- ◎高齢者を支えるシステム
- ◎高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように地域がサポートし合う社会システム
- ◎その人の住み慣れた地域での生活を支えるために多職種が協働すること
- ◎地域全体で高齢者等の不自由な方をサポート(ケア)する。
- ◎最期まで住み慣れた地域で自分らしく過ごすために地域で支え合うこと
- ◎医療、介護、福祉の関係者が協力し、地域住民を支え合う
- ◎高齢者をとりまく医療・保健・福祉関係者が連携・協働し、支えていく体制。
- ◎お年寄りに寄りそう、地域見守り隊の発展した段階というイメージ

「病院と在宅の橋渡し」

- ◎住民の力を医療・介護など多職種がバックアップして、住み慣れた場所で暮らすこと
- ◎連携地域の人々が住み慣れた町で安心して暮らすことができること
- ◎地域住民が住み慣れた場所で自分らしく生活することを支える
- ◎共通意識
- ◎地域単位で考えて健康維持・増進に取り組むこと
- ◎多職種連携。在宅から病院へシームレスな医療の提供。そして施設・在宅へ病いを看る。ひとを看る。

「責任の押し付け合い」

- ◎生活全体を診て、地域で暮らす弱者を支える
- ◎地域住民を中心とした、多様性の連携・地域のつながりを面で支えるケア
- ◎地域全体で医療と介護を支える
- ◎高齢者(要介護者)の地域での生活を支援している感じ
- ◎高齢者や生活に支援が必要な人々を、医療・福祉・介護など様々な
- ◎関係者が一つの地域内で支える仕組みを構築すること
- ◎高齢者のケア
- ◎大変そう!